

香川県における新たな難視地区対策について

別紙2

1 課題

香川県においてアナログからデジタルに移行することによる新たな難視地区として

(1) 地元放送が受信困難となる地区

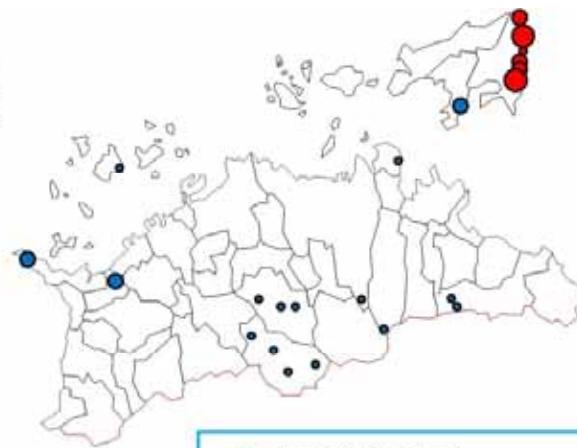
・4市4町(23地区194世帯)あるが、少数世帯(1~5世帯)の難視地区が13地区と多く、共聴新設では世帯当たりの負担が大きい

(2) 区域外波(近畿広域波等)が受信困難となる地区

・小豆島町のみであるが対象世帯が非常に多いこと(800世帯弱)が想定され正確な調査が必要

このような状況から対策手法について住民への説明・了解が得られている地区は0であり、難視対策の策定・実施に向けて早急に取り組む必要がある。

- 60世帯以上
- 30~59世帯
- 1~29世帯



* 地図は、合併前の表示

- 新たな難視地区(県内波)
4市4町(23地区203世帯)
- 区域外波のみ受信での難視地区(今後調査予定)
1町(6地区763世帯)

2 対応策

今年度から新たに追加された支援策(国、デジサポ、NHK)を活用して、放送事業者、自治体等との連携・協力により新たな難視の対策の策定・実施

(1) 新たな国の支援策の活用

少数世帯における対策として活用可能な国の支援策として今年度から高性能アンテナ設置、CATV移行が追加されたことから、当該支援策の活用

(2) デジサポの技術支援の活用

今年度からデジサポによる無料の受信点調査及び技術支援等が追加されたことから、当該支援策の活用

(3) 区域外波の難視実態調査の実施

本年5月頃までに対策計画策定のための現地調査を実施し、7月頃までに当該調査結果を踏まえ、関係自治体が調整の上、対策計画策定